

保健師職能委員長あいさつ

竹島久美子 (愛知県医療計画課)

保健師職能委員長の竹島です。日ごろは、愛知県看護協会職能委員会の活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、日本は少子超高齢化社会を迎え、認知症高齢者や単身高齢世帯等の増加に伴い、医療や介護サービス以外にも、在宅生活を継続するための日常的な生活支援等、多様な課題が顕在化してきております。誰もが予測できない経験したことのない時代が訪れると専門家は我々に警告を与えてくれます。

わたしは、県の保健師として長年働いてきました。事例や家族への支援、そして地域への関わりの中で様々な壁にぶつかったときは、いつも未知の世界でした。それに立ち向かえたのは、先輩保健師もちろんですが、医師や歯科医師、薬剤師、病院のワーカー、事業所の相談員あるいは保育士や教師の方々等、さまざまな職種の方々との連携と協働でした。一つ一つの課題を関係者と相談して、なんとか解決してこられたと思っています。社会の変化に伴い、複雑困難な課題が山積して行く中で、多職種の連携・協働がますます必要になると切実に感じています。

そんな中、看護協会に職能委員長として関わり、看護職の方々との意見交換をし、本当は一番連携しなければいけない看護師や助産師等の方々とは十分になされていないということに気づきました。身近すぎるが故にわかってもらっていると勝手に思い、知らないうちになおざりになり遠い存在になってしまったという感じでしょうか。お互いになんとかしたいという思いは一緒なのにと思う次第です。

さらに、もう一つ気づいたことは、まず、保健師同士が知り合い理解し合うことです。看護協会の活動は新たな方々との出会いをもたらしてくれました。それは、職域・教育・病院や名古屋市等で働く保健師です。他の領域や他の行政機関で働く保健師と互いの活動を語り合い保健師の未来を考えるような機会はまさに看護協会の活動でした。新しい出会いと知らない世界を知る機会です。そこで下記のような集会や交流会を企画しました。是非、皆さんも看護協会の活動に足を踏み入れて見ませんか？お待ちしております。

三職能集会のお知らせ

【日時】 令和2年2月12日(水)10:00~15:30**【会場】** 愛知県産業労働センター ウィンクあいち**【内容】** (事前申込み不要)

午前:◆講演 愛知県看護協会 鈴木会長

「今こそ、つなぐ看護職

～社会の変化をキャッチし立ち向う～」

◆シンポジウム

看護職間のつながりのためのディスカッション

午後:保健師職能集会(交流会)

「日本を支えるあいち～生涯を通じての健康をめざし保健師がつなぐ～」

◆「職域保健の立場から」

日本看護協会保健師職能委員 塚田月美氏

◆「地域保健の立場から」

愛知県一宮保健所 伊藤博美氏

交流会のお知らせ

「事例検討から学ぶ」**～アセスメントの視点を考える～****【講師】**

武蔵野大学看護学部教授 中板 育美 先生

防衛医科大学校心理学教授 佐野 信也 先生

① 令和2年2月28日(金)午後 刈谷豊田総合病院

② 令和2年2月29日(土)午前 愛知県看護協会

【参加費】1,000円実際の事例検討を通して、
大切なアセスメントの視点を学びます。**お申込みお待ちしております。****(事前申込み必要です)**

研修会「保健師が書く記録～人材育成の視点から～」

令和元年8月3日（土） 13:30～16:00 受講者数38名

アセスメント能力向上につながる記録の書き方や、情報開示請求があった時に困らない記録の書き方について「人材育成の視点から」学ぶことを目的に研修会を開催いたしました。講師として東京女子医科大学大学院看護学研究科の清水洋子教授をお招きし、「記録の目的・意義」「記録を作成するポイント」「不適切な表現」などについて具体的にお話しいただいた後、グループワークを実施しました。参加者は行政機関である保健所や保健センターの保健師が大半を占める中、少数ではありましたが病院、企業、教育機関の方の参加もあり、様々な領域で記録に関する関心が高いことが伺われました。また、役職別では係長級が最も多く約半数を占める状況であり、日頃から部下を指導育成していく立場として記録の在り方を課題に感じている現状が分かりました。

研修後のアンケートの結果より、講義に関して「多職種間で連携できる記録の書き方を組織で考える」「再アセスメントの重要性」「記録が保健師活動そのものを成長させること」などについて学びを深めることができたと分かりました。グループワークに関しては、「同じ課題を共有できた」「他部署、他市町村の工夫が参考になった」などの意見が聞かれました。研修全体を通して「人材育成の活用度」は、「活かせる」との回答が参加者の9割を超え、今後の保健師活動の向上につながる研修となりました。



研修会 病院・施設の看護師と行政保健師の連携

「病院・施設と地域の連携 ～看護師と行政保健師をつなぐ～」

令和元年9月21日（土） 13:00～16:00 受講者数48名

名古屋大学医学部付属病院 先端医療・臨床研究支援センターの水野正明先生から、地域包括ケアシステム構築のために必要な看護職間の連携について、各市町村で行われている事例を交えて、行政保健師と看護師の役割について講演していただきました。

印象に残ったのは、行政保健師は「その地域のコンダクター、旗降り役である」という言葉です。行政だからこそ持っているデータを基礎とした地域診断の結果、見えてきた地域課題を抽出し、その地域に合った対策をたてて、保健師がコンダクター、旗降り役となり関係機関や住民巻き込んでいく保健師本来の役割の重要性を改めて実感しました。

また、豊橋市こども保健課の山本課長補佐からは母子保健に対する関係機関とつくるネットワーク、仕組み、事例について、名古屋市南区の大橋主査からは高齢者を中心とした地域の見方、課題抽出や対策に向けた関係機関との取り組みについての実践報告を行い、行政保健師が地域に向けてどのような役割を担っているのか、病院・施設等で働く看護師に伝えることができました。

今回の研修会を通して、今まで見えにくかった保健師の活動を伝えることができ、看護職同士の連携強化に向けた第一歩になったと思います。地域包括ケアシステムの構築、その先の地域共生社会を目指した連携がとれるように保健師としてできることを頑張っていこうと思える研修でした。



保健師の活動基盤に関する基礎調査の結果報告書から

今回は 4 回目の調査です。(平成 21、22、26、30 年度と実施) 愛知県保健師の結果の一部を紹介します。

1 調査の概要

調査目的：保健師のキャリア形成や活動環境における課題を明らかにする。

調査期間：平成 30 年 9 月 5 日(水)～10 月 30 日(火)

調査方法：Web 調査、質問数は全 57 問

調査対象と回答状況：保健師として活動している保健師 全国有効回答数 18,755 件

愛知県保健師の有効回答数 1,159 件 [性別 女性：1,127 人(97.2%) 男性：32 人(2.8%)]

愛知県の回答数は、全国 1 位
ご協力ありがとうございました。

2 調査結果(愛知県分)

回答者属性：平均年齢は 42.0 歳、保健師としての通算経年数は平均で 15.3 年目、現在の所属に就職してからの保健師通算経年数は平均で 11.5 年目。(産休・育児休暇等で休んでいた期間は除く) 現在の所属に保健師として就職する前に看護師または助産師の経験がある者は 487 人(42.0%)、現所属以外の保健師経験がある者 315 人(27.2%)、経験なしは 449 人(38.7%)
所属組織：所属組織は市町村 456 人、保健所設置市・特別区 293 人、企業・事業所 123 人、都道府県 120 人、地域包括支援センター(委託) 46 人であった。(図 1)

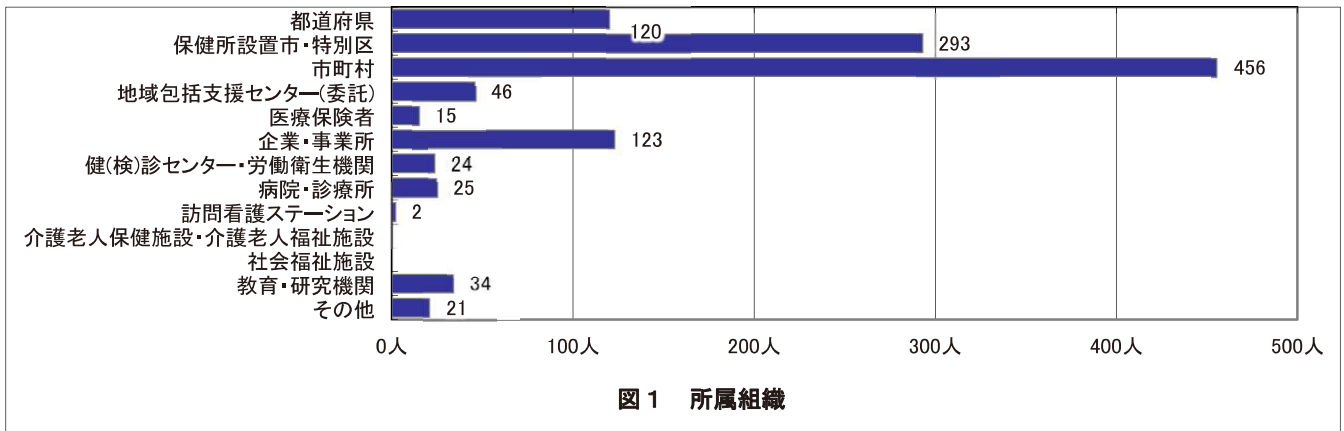


図 1 所属組織

業務内容：行政領域の保健師の多くが従事している業務(最も時間をかけている業務、それに準ずる業務のいずれかで選択された業務)は母子保健(59.2%)が最も多い。(図 2)

産業領域は、各種健康診断と事後措置支援(61.7%)が最も多く、次いでメンタルヘルス対策(65.5%)である。(図 3)

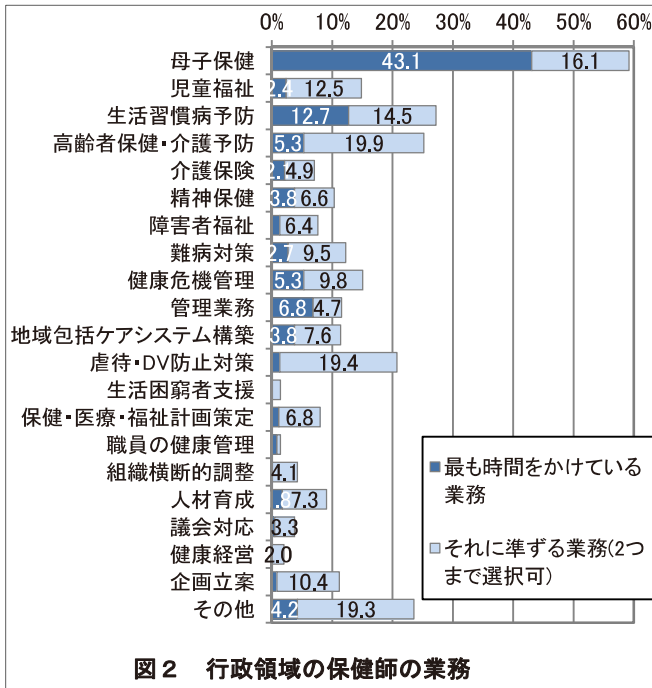


図 2 行政領域の保健師の業務

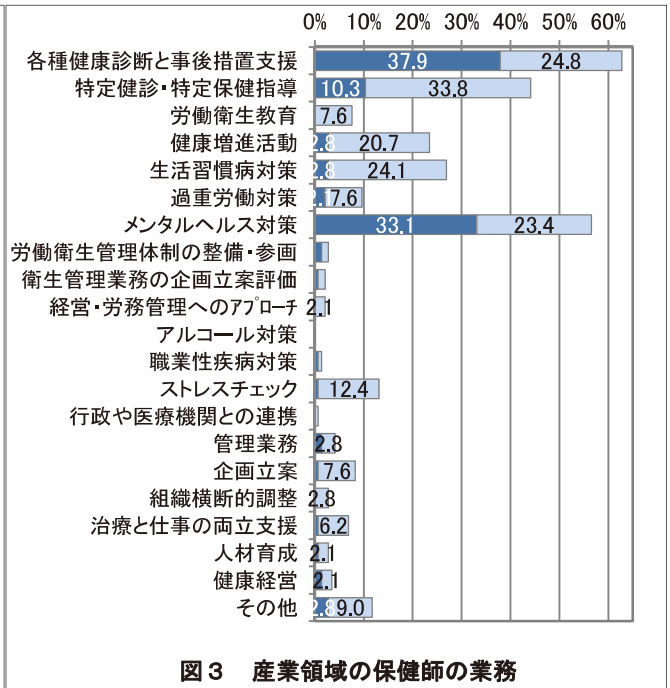


図 3 産業領域の保健師の業務

3 まとめ

紙面の都合から一部の紹介です。統括保健師、人材育成に関することもあります。是非、日本看護協会公式ホームページをご覧ください。愛知県のデータについて愛知県看護協会にお問合せください。(常務理事 和久田)

「あいち県民祭」に参加して in あいち健康プラザ 令和元年9月14日(土)、15日(日) 参加者数900名

今年度のテーマは「オリンピックに向かって健康づくり」、競泳元日本代表の松田丈志氏の講演を始め、立浪和義氏のトークショーやポケモンステージショーなど、大人から子どもまで楽しみながら健康づくりのきっかけをつかめるイベントとなりました。

愛知県看護協会では、両日にわたり、体験中心型健康チェックコーナーで昨年度も好評いただいた、からだのバランスチェック(433名)、かんたん口コモチェック(355名)、お子さんがナースユニフォームを着て写真撮影を行う、なりきりナースコーナー(112名)を開催しました。ご友人やお子さん、お孫さんと楽しく参加していただきました。バランスチェックは目を閉じてその場で足踏み50回、体の重心の偏りで徐々にずれて、横の方が目の前に！口コモチェックは膝を70度に曲げた姿勢からの片足立ちで、ふらついたり、立てなかったり、笑顔がこぼれつつも筋力低下を実感し「運動不足で…」という声が聞かれました。フレイル対策が注目されていますが、日々の健康づくりや体の変化を意識していただける機会になったのではと思います。

当日は保健師職能委員の他、助産師職能委員、看護師職能委員、協会事務局の16名で活動しました。

～ 看護職賠償責任保険制度 ～

日本国内の行政や事業所で保健師が行う業務によって、他人の身体や財産に損害を与えたり、人格権を侵害したため、法律上負担しなければならない損害賠償責任を保証します。保障は法律上の損害賠償金の他、弁護士報酬等の争訟費用も補償します。

こんな時のために・・・

- 訪問先で、うっかり物を破損してしまった
- 相談者との面接で、名誉を傷つけられたと訴えられた
- 運動指導で、参加者が転倒しけがをしてしまった

日本看護協会会員だけが加入できる保険制度。
詳しくは看護協会へお問い合わせください。

～ 看護協会への入会 受付中 ～

愛知県看護協会は、38,620名の看護職の職能団体です。そのうち保健師の会員は552名です。(令和元年10月末)

看護協会では、保助看の看護職が各専門性を発揮しつつ安心して働き続けられるように環境づくりを検討したり厚生労働省とコミットした活動を実施しています。地域包括ケア推進のために愛知県看護協会地区支部では、看護職間の連携に取り組んでいます。様々な部署で働く保健師間での勉強会も開催しています。

行政で働く保健師さん！
企業で働く保健師さん！
病院で働く保健師さん！
福祉で働く保健師さん！

多くの皆さまの加入を
お待ちしております。



愛知県保健師職能委員

竹島久美子 三原亜矢巴
藤原啓子 大橋加奈
水谷聖子 加藤寿子
担当理事
和久田月子

編集後記

年の瀬も迫り、インフルエンザ流行も気になるこの時期、慌ただしい日々をお過ごしのことと思います。保健師職能委員として1年半が過ぎました。お役に立てるか不安もありましたが、看護協会は「保健師として」を改めて考える機会となり、研修やイベントなども新たな学びを得ることができる貴重な時間となっています。(加藤)